

昭和48年11月27日

基準適用による仕様向上分を含んでおります。

<お知らせ>

本田技研  
4輪車の価格改訂を実施  
および  
ホンダ CIVIC.145クーペに保安基準適用

本田技研は4輪車全車種の価格改訂を行うことを決め、11月27日より実施することになりました。  
同時に、小型乗用車ホンダCIVICおよびホンダ145クーペに昭和48年12月以降実施の保安基準を適用し、同じく11月27日より発売します。

当社は、これまで人件費、資材部品購入費、流通部門における諸経費などの増加を、極力企業内で吸収する方針で生産・販売その他全般にわたる合理化努力を続けてまいりました。

しかしながら、昨今のインフレ傾向に伴う資材部品購入費の高騰により、収益の圧迫を余儀なくされ、企業内での吸収努力も限界に達したと考え、このたびの価格改訂を行うことになりました。

今回の価格改訂の幅は全車種で平均5.7%、2万7千円ですが、小型乗用車ホンダCIVICおよびホンダ145クーペには保安

◎ 価格（東京地区標準現金価格）

小型乗用車

単位千円

車種	新価格	旧価格	改訂幅	改訂率(%)	
ホンダ CIVIC 2ドア	スタンダード	472	438	34	7.8
	Dx	524	488	36	7.4
	* Dx (ディスク付)	539	—	—	—
	HiDx	545	508	37	7.3
	* HiDx (ディスク付)	560	—	—	—
	GL	582	543	39	7.2
ホンダ CIVIC 3ドア	* GL (青ガラス付)	585	—	—	—
	Dx	540	503	37	7.4
	* Dx (ディスク付)	555	—	—	—
	HiDx	561	523	38	7.3
	* HiDx (ディスク付)	576	—	—	—
	GL	598	558	40	7.2
ホンダ145クーペ	* GL (青ガラス付)	601	—	—	—
	SL	676	636	40	6.3
	GT	728	686	42	6.1
	GL	768	724	44	6.1
	FI	878	824	54	6.6

- オートマチック車は32,000円高（旧価格は29,000円高）
- 今回保安基準適用のため全車種を記載

\*印は、今回より採用した特別注文仕様

## 軽自動車

単位千円

車種	新価格	旧価格	改訂幅	改訂率(%)
ホンダライフ H・スタンダード	389	370	19	5.1
HiDx	456	434	22	5.1
Z・ハードトップ GT	467	445	22	4.9
ライフ・ワゴン Dx	439	418	21	5.0
ライフ・バン H・スタンダード	380	365	15	4.1
ライフ・ステップバン スタンダード	407	388	19	4.9
ライフ・ピックアップ スタンダード	397	378	19	5.0
ホンダ T N - V 三方開きスタンダード	379	361	18	5.0

○ 保安基準適用済のため主要車種のみ記載

### ◎ ホンダ CIVIC, 145クーペに適用の保安基準内容

- イグニッションスイッチと一体式のステアリングロックの採用。  
(145クーペGLには既に適用)
- 前輪系と後輪系を独立させた2系統式ブレーキの採用。  
(145クーペには既に適用)
- 全面のガラスに安全強化ガラスを採用。  
(145クーペには既に適用)

- 衝撃を吸収する可倒式フェンダーミラーの採用。
- 方向指示器と駐車灯の独立回路化。
- ホーン位置を分りやすく表示するホーンマークの採用。

・なお CIVIC の特別注文仕様として

- ・ Dx、HiDx の前輪ディスクブレーキ装着 (15,000円高)
- ・ GL の青ガラス仕様 (3,000円高)

をそろえ、ユーザーの強い要望に応えることになりました。